

Girls in Control 2025 秋（第 14 回） 開催報告

2025 年 11 月 25 日

1. 開催概要

日時 2025 年 11 月 3 日（月祝）13:30～15:30
場所 名古屋大学東山キャンパス IB 電子情報館 IB012 教室
参加者 5 名（小学生 2 名，中学生 3 名）（当日キャンセルが 1 名）
スタッフ 大矢純子（東芝），椿野大輔（名古屋大），松山科子（東京エレクトロン），
南裕樹（兵庫県立大、パート）、関口和真（都市大、パート）、
清水佳子（電中研）、田中ひろみ（JAAC）、学生 TA 4 名（南山大、名工大）

2. 報告内容

当日は、事前申込み 6 名のうち 1 名がキャンセルとなり、5 名の参加者でイベントを実施した。今回は基礎コースの開催であり、講義（担当：椿野）に加えて、小型ドローンの飛行デモンストレーション（担当：椿野）を行った。また、最後には理系女子の先輩である TA4 名に対し、研究テーマや工学部への進学理由などについて質問し（大矢），自由に語ってもらう時間を設けた。参加者へのアンケート結果によれば，イベントへの満足度は非常に高く，「楽しかった」という声のほかに，「楽しくて、プログラミングについてもっとしりたくなった」といった感想が寄せられた。

イベント終了後は，スタッフと TA で意見交換会を開催した（大矢，松山，清水，椿野）。TA 業務を通じて気づいた点や，大学生活や進路に関する話題について，意見交換が行われた。



3. 反省点など

(1) 広報について

今回は広報活動に苦戦し、参加者数が少ない中での開催となった。地方開催の場合の宣伝の難しさがあった。結局は ML などではなく、顔が見える範囲での広報活動が有効であった。地方の進学塾に飛び込みで宣伝依頼を行ったところ、エレベーターホールにポスター

(A4) を掲出くださるなど協力いただけたので、今後の参考としたい。

(2) 内容について

基礎編の実施にあたり、以下の 2 点について工夫を行った。

- ・前回に引き続き、実施時間を 1.5 時間から 2 時間に延長した。これにより、演習の時間や TA へのインタビューの時間を十分確保することができた。
- ・これも前回に引き続き、解説資料の一部を資料として提供した。これにより、参加者個人のペースで作業ができるようになった。小学生から中学生までが参加する場合、中学生の進行が早くなる傾向があり、一方で小学生のみの場合でも、講師のペースに追いつけない参加者が一定数出てくる。そのため、この方法は有効であると考えられる。

(3) 参加者へのヒアリング

- ・保護者から、事前に教材が送られてきた後、子供が Scratch を使っていろいろやっていた、との話が有った。予習できたことで参加がスムーズになり理解が深まったと思われる。

(4) TA へのヒアリング

- ・子供の参加者に対して、みな賢い、自分でどんどんやっていた、との感想で一致。
- ・今回参加してくれた TA 達の学年は女子比率が 20% と高いが、前後では 1/50 人の学年も複数あるとのこと。
- ・女子が少ないので女子同士はみな友達になる。女子同士で話をしてから男子に相談するようになっているとのこと。
- ・大学には「メカジョ」のような企画があり、大学が手を差し伸べてくれていることを感じている。
- ・ダンスやスキーなど、全員が身体を動かす趣味を持っていた。小さいころから習い事でもやっていたとのことで、体力が有ることが大事なのかも知れない。

(5) その他感想

- ・今回は参加者が少なかったこともあり、全体にアットホームな雰囲気が進められたことと、TA が十分に配置できたために参加者が十分に楽しんで参加できたことが良かった。
- ・参加者の一人が、当日、ダウンロード済みのファイルの保存場所が分からなくなり、TA らと探す場面が有った。今回はファイルが見つかったが、ダウンロードしてこない子供の可能性を考えて USB メモリを用意していたのは良かった。

以上

20251103

報告者

大矢純子／清水佳子／松山科子

質問項目		ヒアリング内容
GiCについて	子供の数/TAの数	小5＊1、小6＊1、中2＊2、中3＊1／5名
	指導は難しかったか？	No、楽しかった
	雑談は盛り上がったか？	皆緊張しておとなしかった(友達で来ていた人もいた)
	資料、子供がわかりやすい？	わかりやすい
	先生の講義は分かりやすかった？	わかりやすい
	準備にどの位時間をかけた？	20-30分
	困った事は有った？	特になし(一人ダウンロードしたファイルがわからなくなっていた)
	感想、自由に	皆賢い、どんどん自分でやる
TA自身について	学年 (M1など)	学部3年＊3、修士2年＊1
	専攻	学部生:機械システム工学、院生:創造工学
	学会に入っていますか？(学会名)	システム制御学会、IEEE(学会のため、参加したかったのがあった)(修士)
	女子学生比率。学部、学科、研究室	機械システム工学:10人/57人、学年が多い、1/50人の学年もいる 修士 1:6、創造工学:35%
	女子が少ない事で困り事ある？	逆に女子が少ない分女子同士で話すように、女子で話してから男子に相談するように 大学ではメカジョのような企画はある(学校が手を差し伸べてくれている)
	研究室、どうやって決めた？	興味ある分野だった(自動車系)、雰囲気:活動の団結性(学部生)、ソフトもハードもやれるため、ドローン(修士)
	就職、何を重視する？	地元で、制御が活かせる(修士)、地元で、福利厚生、家族(学部生)・親族が車関係(学部生)
	好きだった科目	小学校:技術・中学:数学(修士)
	理系・工学系に進学した理由・理系への進学を決めた時期・影響を受けたエピソードなど	・ものづくりが好きで小学生の時に参加したロボットWSで面白かった、実際に動くものを見て興味を持った(学部生) ・お兄さんの影響(IT業界) (学部生) ・機械のほうが選択肢が豊富だった(学部生)
	家族、進学に理解有った？	YES
	家族に理系の人は居ますか？	兄弟、親戚(親)
	習い事(親からの質問)	ダンス・ピアノ(学部生)、クラシックバレエ・水泳(学部生)、スキー・乗馬(学部生)、剣道:精神・声が出る(修士)
	その他、自由に	推し: ・本集め:分厚い600-800Pagesの本、本棚がみっちり(修士)、スキー、準指導員、たくさん滑ること・止まれること(学部生)、お笑い、東京や名古屋の公演(学部生)、スタバ種類を覚え早く作る(学部生)
参加者(子供)	楽しかったか？	YES
	難しかった？	そんな難しくなかった(スムーズ)
参加者(親)	このイベントはどうだったか	
	気づきなどがあれば	案内を見て友達(お母さん)を誘って一緒に来た。スクラッチの情報が送られて来てから自分で色々やっていた